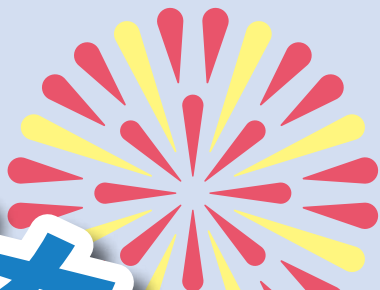
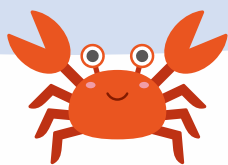


社協だより

第165号

令和3年

7月10日発行



音声訳って
ご存じですか？



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

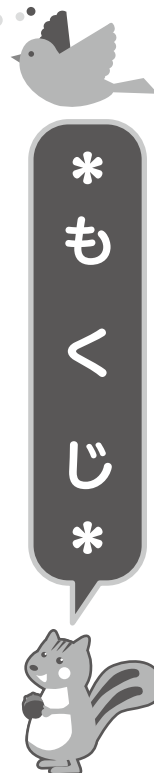
佐渡市社協

検索



佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

* も く じ *



表紙の紹介……………	2ページ
かんたんタオル体操……………	2ページ
自宅で簡単にできる体操のご紹介です。	
ボランチャコーナー……………	3ページ
セカンドライフ講座と夏休みのボランティア 体験のお知らせです。	
災害時の連携「社協×JC」……………	4ページ
佐渡青年会議所と佐渡市社協の理想の 協力体制についてお伝えします。	
令和2年度事業報告・苦情報告……………	6ページ
令和2年度決算報告……………	8ページ
役員改選の報告……………	9ページ
寄付のお礼……………	10ページ
お知らせ……………	10ページ
みつけて応募……………	11ページ
脳トレ問題にチャレンジしましょう！	
輝く島のうし年さん……………	12ページ
丑年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を ご紹介します。	
このマークなあに？……………	12ページ
子ども向けの福祉情報です。	
今回は「身体障がい者マーク」を紹介します。	
地域のちっといひ話……………	12ページ
地域で見つけた「いい話」のおすそ分けです。	

今月の表紙

音声訳とは、書籍や新聞などに書かれている文字や図表などの情報を、音声にして伝えることです。

島内で活動している音訳ボランティア団体「佐渡市音訳とわの会」の皆さんは、「同じ地域に暮らす方々の目の代わりとなって情報を伝えたい」と、「市報さど」や「社協だより」の内容を丁寧に読み上げて収録し、CDに焼いています。また、利用されている方は、「島内の活動がよく分かり、イベントなどの楽しい様子が伝わってくる」と、CDが届くことを楽しみにされています。

CD配付の対象者は視覚障がいのある方で、お届けするCDの再生には専用のプレーヤーが必要です。詳細は佐渡市役所 社会福祉課 障がい福祉係へお問い合わせください。

(電話：63-5113)



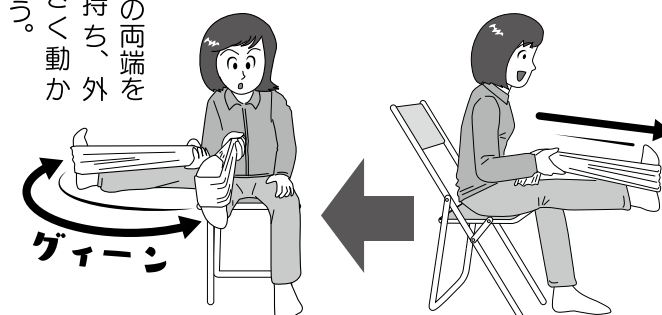
届いたCDを聞いている利用者の方の様子

かんたん！
タオル体操

家でやってみて
くれえっちゃー！



足裏にタオルをひっかけて、かかとを遠くへ押し出します。余裕がある方はタオルを短めに持ってみてください。



グーテン

タオルの両端を片手で持ち、外側へ大きく動かしましょう。
繰り返すことで、太ももの裏側や外側・内側のストレッチになります。

ボランチャコーナー！

セカンドライフ講座 受講者募集！

退職後の生活、普段の暮らしに新たな彩りを加えてみませんか？
シニア世代の方を対象に、連続講座を開催します。ボランティア活動についてもご紹介しますので、新しいことを始めるきっかけにおススメです！

第1回 「セカンドライフの生活設計」

～ 退職後のマナープラン ～

講師 新潟県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
日時 9月3日（金） 13時30分～15時00分
会場 畑野行政サービスセンター3階大会議室
定員 20名（先着順）
申込み 8月27日（金） までにボランティアセンターまたはお近くの社協各支所・地域センターへお申し込みください。
※講師は新潟市からオンラインで参加します。

第2回 「はじめてのスマートフォン」

講師 ドコモショップ佐渡店
日時 9月10日（金） 13時30分～15時00分
会場 畑野行政サービスセンター3階大会議室
定員 20名（先着順）
申込み 9月3日（金） までにボランティアセンターまたはお近くの社協各支所・地域センターへお申し込みください。
※現在スマートフォンをご利用の方は当日ご持参ください。
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催を延期または中止する場合があります。



ボランティア体験プログラムを行います！

夏休み期間中に、地域福祉事業などのボランティア体験を実施します。

内容 ・おはようコールや配食サービスなどの体験
・児童クラブでの宿題ボランティアなどの体験

問合せ ボランティアセンターまたは社協各支所・地域センターまで

ボランティアの声

（ボランティアセンター登録更新アンケートから）

- ❖新しい発見があり、学びの場となっている。自身の脳トレやリハビリとなっている。
- ❖自分が健康でないとボランティア活動はできないと思う。活動でき、自分が健康で社会に恩を返せるという幸福を感じる。
- ❖高齢者とのふれあいがとても気持ちよく、こちらが頑張っていることを分かってくれたり、協力もしてくれるので、人生は鏡だな！というのが実感です。

皆さんが生きがいを感じて活動されている様子が伝わってきます。一方で、活動者の高齢化を心配する声もありました。学生や若年層の次世代にボランティア活動に興味を持ってもらえるよう、今後も出前塾や体験プログラムを通じて働きかけていきたいと思います。




ボランチャコーナーに関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11155



佐渡青年会議所
理事長 坂本 和雅氏

“できるかも!”を増やして備える

社協  佐渡青年会議所

災害時の連携



佐渡青年会議所の皆さん

佐渡市社協と佐渡青年会議所は、平成29年に「災害時相互協力協定」を締結し、市内で災害が起きた際には連携して被災者支援に取り組もうと約束しました。一見すると縁のなさそうな2つの組織がなぜ結びついたのか、この協定によって何が変わったのか、地域の皆さんにはどのような影響があるのか…。

今回は、普段あまり地域の皆さんの目に触れることのない取り組みについて、お伝えしたいと思います。

「青年会議所」という名前、初めて耳にした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。青年会議所は英訳である「Junior Chamber」の頭文字をとって、通称「JC（ジェーシー）」と呼ばれています。20歳から40歳までの会員で構成されていて、大きな目的は社会貢献。全国に700近い組織があり、その中のひとつが「佐渡青年会議所」です。

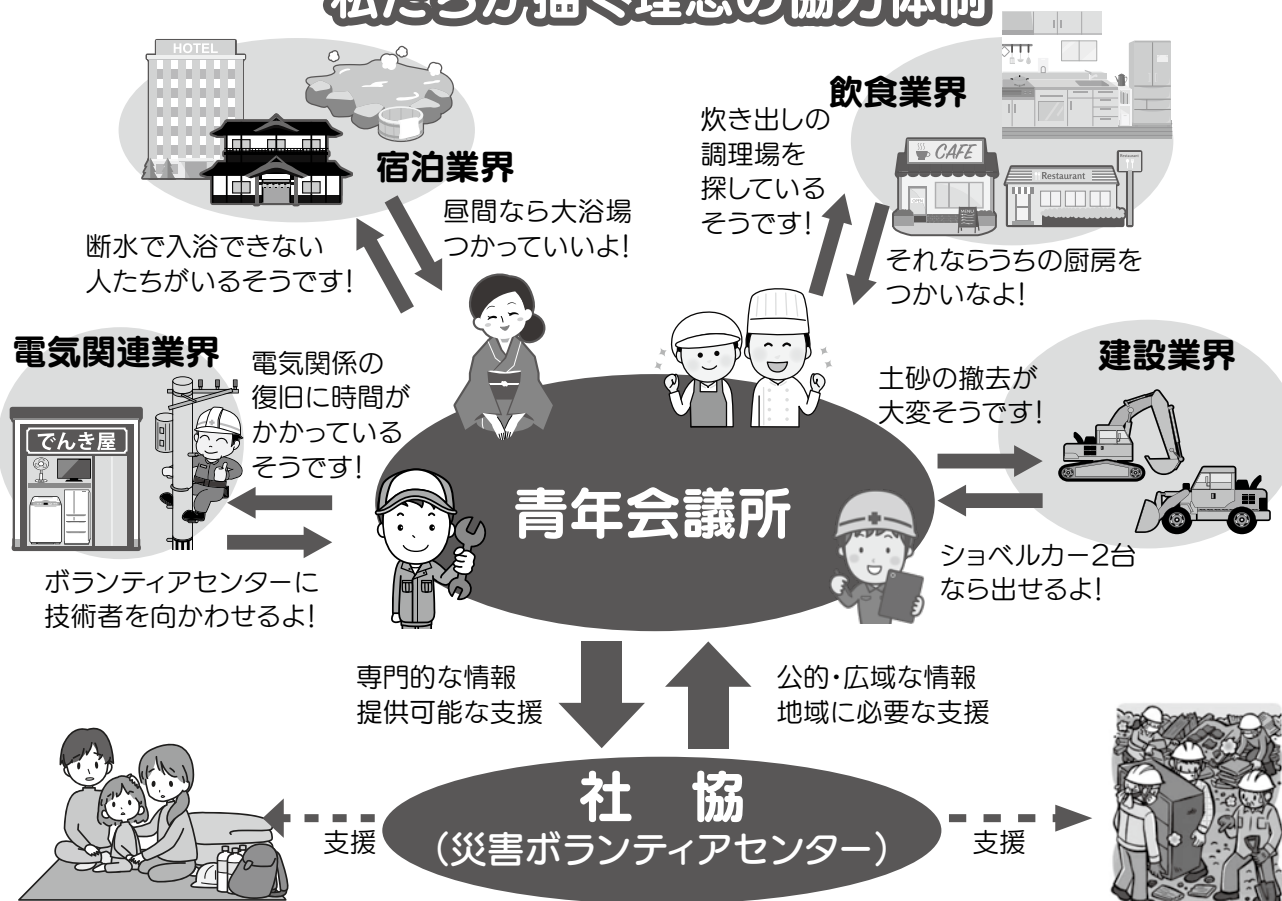
地域の方々と触れ合う活動としては、地域のイベントをバルーンで盛り上げたり、少し寂しくなった商店街をシャッターアートで賑やかに飾ったり。中でも、幅広い業種で構成されていることを活かした子ども向けの職業体験は大盛況だったと聞いています。一方で災害支援の意識も高く、日頃から被災地支援の現状や課題を学んだり、会員の多くが災害ボランティア活動に取り組んでいたりします。ですから、災害発生時に災害ボランティアセンターを立ち上げる役割を持つ社協との連携は、意外なようで、ごく自然なこととも言えるでしょう。



この動きは県内外で広がっていて、佐渡市社協と佐渡JCの連携も自然な流れで始まりました。正直なところ、お互いに何をしている団体なのかよく分からない状態でのスタートでしたが、被災地支援の義援金活動や顔合わせを兼ねた勉強会などを重ねながら、お互いの活動への理解と災害時の対応の学びを深め、協定の締結にたどり着きました。もちろん、協定を結ばなくても協力する気持ちは大いにあります。しかし、協定によってより強い信頼関係を築けるのは確かです。

これまでの関わりを通して私たちが描いている理想の体制を、次ページにまとめてみました。社協が持つ地域とのつながりや広域にわたる情報と、J

私たちが描く理想の協力体制



最後に、今回の特集に向けて佐渡JCの坂本理事長からメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

「今年の佐渡JCは『郷土愛』をテーマに掲げて活動しています。1人ではできないことも、3人ならできるかもしれない。3人ではできないことも、10人ならできるかもしれない。そうやって、仲間と共に『自分のできる最大限のこと』にチャレンジできるのがJCの魅力です。」

Cの強みである業種の多さやフットワークの軽さを、両者の連携によって地域の皆さんへの支援につなげることが最大の目的です。中には夢物語で終わるものもあるかもしれませんが、夢や希望は多い方がいい！その中から1つでも2つでも実現できるものが生まれてくれればと思います。明るい可能性づくりを続けています。ただ、このような取り組みが表に出るのは何か災害が起きたときになるので、できれば見えないままの方がよいのですが、いざという時に最高のパートナーとして活動できるよう、これからも準備を進めていきたいと思います。

今回は、普段は見えない災害への備えについてお伝えしました。残念ながら災害自体を防ぐことはできませんが、人と人、組織と組織のつながりを深めることによって、何かあったときの二次的な被害を小さくすることができればと思います。

そして地域においても、もしもの時に声を掛け合えるかどうかには普段の付き合い方が大きくかわってくると思います。いま一度、隣近所のつながりを見直し、姿が見えた時には声をかけ合っていただければ幸いです。

現メンバーは26名、そのうち8名が今年40歳となり、卒業を迎えます。たくさんの仲間がいることで叶う夢があるので、ぜひJCのメンバーになって、一緒に『できるかもしれない』に挑戦してほしいと思います。

また、今回、災害時の佐渡市社協との連携について考えてみて、自分たちの想いを支援につなげる確かな手段だと改めて感じました。今後は有事のシミュレーションを行い、実際にできることの整理を進めていきたいと考えています。」

令和2年度

事業報告

昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、例年どおりとはいきませんでした。感染防止対策を行い、内容を工夫して実施したものも多くありました。また、生活支援ボランティアの派遣や配食サービスなどの訪問事業の実施回数は増加し、コロナ禍において個別支援の必要性和地域の支え合いの重要性を改めて実感する一年になりました。

思いやりの心を育む

まちづくりの推進

福祉教育の充実

福祉教育事業の実施

- ・ 出前塾 21回、延べ560名参加
- ・ ボランティアスクール 2回、延べ204名参加

福祉ボランティア講座

(ふくボラ講座)の実施

8回、延べ119名参加

ボランティア等市民活動団体への支援

ボランティアの相談、連絡調整

- ・ ボランティアセンター運営委員会 2回、延べ21名参加

- ・ ボランティアステーション運営委員会 17回、延べ132名参加

ボランティアルームの設置 5カ所

- ・ ボランティア担当者会議等 12回

支え合い助け合う

まちづくりの推進

支え合い意識の高揚と参加の促進

地域福祉懇談会等の実施

- ・ 地域福祉懇談会 24回、延べ398名参加

支え合いマップづくりの実施

- 9回、延べ76名参加

生活支援体制整備事業の実施

- 活動実績 438件

第3次佐渡市地域福祉活動計画の評価

社会福祉功労者表彰式

子育てにやさしい地域づくり

世代間交流事業の実施

- ・ 世代間交流の推進 5回

地域の人材リーダー育成

民生委員・児童委員等との連携強化

ボランティア研修会等の実施

- ・ ボランティアきつけづくり講座 2回、延べ27名参加

ボランティアステーション事業

- 6回、延べ60名参加

地域での見守り・声かけ体制づくり

おはようコール(お元気コール)の実施

- ・ おはようコール(お元気コール)の利用者123名、ボランティア54名

コールボランティアの育成

- 2回、延べ15名参加

配食サービスの実施

- 延べ10,952食

ボランティア66名

見守り活動の推進

- 238地区、協力員 559名

地域福祉社会への活動支援 24地区

健康に安心して暮らせる

まちづくりの推進

誰もが集える場所機会づくり

地域力強化推進事業の実施

- 相談実績1,065件

活動実績794件

地域の居場所づくり事業の推進

- ・ 地域の茶の問いきいきサロン等 755回、延べ8,543名参加

スタッフや参加者同士の交流会・スタッフ研修会

- 19回、延べ310名参加

健康生きがいづくりの推進

ボランティア活動の推進

ボランティア登録状況

- ・ ボランティア登録状況 個人523名、団体187団体

ボランティア活動保険加入受付報告

- ・ ボランティア活動保険加入受付報告 加入者延べ2,054名

収集ボランティアの協力

- ・ 障がい者福祉活動の支援 介護予防教室の実施 624回、延べ7,133名参加

24時間テレビ

チャリティ募金活動の実施

- 募金実績 35,614円

福祉情報の提供

社協だよりの発行

- 6回

ホームページの活用

権利擁護の推進

日常生活自立支援事業の推進

- ・ 日常生計自立支援事業の推進 契約者数 52名

問合せ相談件数

- 2,823件

生活支援員登録者数

- 57名(実働者37名)

生活支援員研修会

- 1回、7名参加

成年後見事業等の実施

相談及び利用支援

- 相談件数 6,181件

利用支援

- 761件

後見人等の受任

- 後見16名、保佐6名、補助1名

成年後見制度等の普及啓発

- 研修会等への職員派遣 4件

成年後見セミナーの開催

- 1回、52名参加

市民後見推進事業の実施

市民後見人の養成・活動支援

- 活動中の市民後見人数 21名

市民後見人活動支援

- 随時相談 2,042件

専門職相談

- 5件

フォローアップ研修

- 4回、延べ96名

市民後見人養成講座の開催

- 10名修了

市民後見人受任調整会議の開催

- 4回、検討件数 8件

法人後見支援事業の実施

- セミナーの開催 1回、6法人(8名)参加

権利擁護のネットワークづくり

- 関係機関連絡会議 2回、延べ10名参加

運営委員会の開催

- 7回

相談支援体制の充実

◆多機関の協働による包括的支援体制構築事業
・相談支援包括化推進員の配置
相談件数 311件

◆地域包括支援センター・プランチの設置
地域包括支援センター
相談件数 延べ3,541件

・プランチ 相談受理件数 222件
・在宅介護支援センター
相談受理件数 34件

生活困窮者自立支援事業の推進

◆生活困窮者自立支援事業の推進
・自立相談支援事業の実施
相談件数 延べ3,811件

・家計改善支援事業の実施
支援調整会議 17回

・就労準備支援事業の実施
プラン作成数 31件

・プログラム作成数 8件

安全で住みやすい

まちづくりの推進

誰もが暮らしやすい基盤整備の充実

◆生活福祉資金の貸付支援
相談件数 478件

貸付件数 43件

◆車椅子貸与事業
貸与件数 79件

◆歳末たすけあい事業の実施
2,510世帯

◆給食サービスの実施
10回、延べ2,782名利用

◆共同募金事業の協力
募金実績 13,949,172円

◆戦没者慰霊祭の実施 2回、26名参加

◆佐渡市福祉団体活動支援事業業務
・老人クラブ連合会 2,511件

・身体障がい者福祉協議会 783件
・佐渡市手をつなぐ育成会 323件

◆佐渡市老人クラブ連合会の
事務・事業協力

・健康推進事業等への協力
26回、1,592名参加

・高齢者福祉大会への協力
1回、20名参加

◆佐渡市身体障がい者福祉協議会の
事務・事業協力

・研修会等 3回、46名参加
・佐渡市手をつなぐ育成会の
事務・事業協力

◆地区文化祭の実施協力
・友愛訪問事業 1回、111名参加
1回、236名参加

生活交通の確保と買い物支援

◆生活支援ボランティア派遣事業
(「むしんネット」)の実施
派遣回数 1,893回

ボランティア 77名

◆移送サービス事業
209回、ボランティア35名

◆自治会活動等への支援
ボランティア人材バンク一覧の発行

◆地域の防災・防犯体制づくり
災害救援体制の整備

・佐渡災害ボランティアネットワーク
情報交換会の開催

・佐渡青年会議所との
災害時相互協定の更新・情報交換会

介護サービス事業の

経営強化と発展

訪問介護事業所の経営

1ヶ所、実利用者数 559名

訪問入浴介護事業所の経営
1ヶ所、実利用者数 57名

延べ利用者数 1,383名
通所介護事業所の経営
10ヶ所、実利用者数 1,065名

1日平均198.7名
短期入所生活介護事業所の経営
1ヶ所、実利用者数 86名

延べ利用者数 6,205名
居宅介護支援事業所の経営
(7月31日まで)7ヶ所

(8月1日から)6ヶ所
プラン請求件数 10,368件

訪問調査件数 177件
介護予防プラン受託件数 97件

認知症対応型共同生活介護施設の経営
1ヶ所、実利用者数 23名

福祉センター等の有効活用

老人福祉センターの経営
1ヶ所、延べ251名利用

福祉センター等の経営
4ヶ所、延べ5,580名利用

高齢者住宅の経営
1ヶ所、11名利用

屋内ゲートボール場すばいく西津の経営
延べ2,687名利用

その他の取り組み

介護保険外訪問介護事業の実施

11回、実利用者2名

令和2年度 苦情受付報告

分類	件数	内容	対応
契約の締結・履行・解除	1件	担当ケアマネの頻回な交代	利用者への説明の徹底
処遇の内容	11件	入浴時の衣服の交換、連絡帳の記載内容、利用日の誤り、訪問時刻の遅延、送迎時の介助方法等	業務の流れの確認・見直し、ミーティングでの徹底、利用者への連絡・説明の徹底、利用者への配慮
職員の言動	7件	職員の名札着用、職員の言葉遣い、職員の行動等	ミーティングでの指導、研修の実施
その他	16件	公用車の運転マナー、送迎時の運転、利用料金、共同募金、社協だよりの綴じ方向等	職員への周知徹底、業務手順の確認・見直し、利用者等への丁寧な説明
計	35件		

令和2年度 決算報告

財産目録（令和3年3月31日現在）（単位：円）

資産・負債の内訳	金 額
1. 資産の部	
流動資産	
現金	55,538
小口現金	900,000
預貯金	430,269,097
事業未収金	258,458,314
未収金	41,112,480
未収補助金	14,150,750
立替金	1,138,326
前払金	40,203
長期前払費用	33,920
流動資産合計	746,158,628
固定資産	
基本財産	
土地	250,953,780
建物	845,503,790
建物付属設備	28,148,973
定期預金	10,000,000
基本財産合計	1,134,606,543
その他の固定資産	
建物	117,439,406
建物付属設備	25,370,449
構築物	358,278
機械及び装置	12,213,242
車輛運搬具	10,633,704
器具及び備品	14,958,891
権利	4,457,320
ソフトウェア	50,998
退職手当積立基金預け金	773,003,458
社会福祉積立資産	80,240,197
介護サービス費事業運営積立資産	147,426,217
財政調整積立資産	86,668,191
退職手当積立資産	26,766,707
固定資産等取得支出積立資産	180,186,578
長期前払費用	96,850
その他の固定資産合計	1,479,870,486
固定資産合計	2,614,477,029
資産合計	3,360,635,657
2. 負債の部	
流動負債	
事業未払金	153,428,578
その他の未払金	16,198,360
預り金	48,875
職員預り金	7,736,521
前受金	18,300
仮受金	969,000
流動負債合計	178,399,634
固定負債	
退職給付引当金	883,268,461
固定負債合計	883,268,461
負債合計	1,061,668,095
差引純資産	2,298,967,562

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目名	当年度末	科目名	当年度末
流動資産	746,158,628	流動負債	178,399,634
現金	55,538	事業未払金	153,428,578
小口現金	900,000	その他の未払金	16,198,360
預貯金	430,269,097	預り金	48,875
事業未収金	258,458,314	職員預り金	7,736,521
未収金	41,112,480	前受金	18,300
未収補助金	14,150,750	仮受金	969,000
立替金	1,138,326		
前払金	40,203		
長期前払費用	33,920	固定負債	883,268,461
固定資産	2,614,477,029	退職給付引当金	883,268,461
基本財産	1,134,606,543	負債合計	1,061,668,095
土地	250,953,780	純資産の部	
建物	845,503,790	基本金	10,000,000
建物付属設備	28,148,973	国庫補助金等特別積立金	958,124,718
定期預金	10,000,000	その他の積立金	494,521,183
その他の固定資産	1,479,870,486	次期繰越活動増減差額	836,321,661
		純資産合計	2,298,967,562
資産合計	3,360,635,657	負債・純資産合計	3,360,635,657

資金収支計算書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）（単位：円）

科 目	決 算
会費収入	7,866,111
寄附金収入	1,987,192
経常経費補助金収入	106,612,772
受託金収入	212,741,129
助成金収入	1,023,000
事業収入	6,022,260
負担金収入	44,733,846
介護保険事業収入	1,338,968,899
障害福祉サービス等事業収入	76,363,352
高齢者住宅事業収入	3,275,894
その他の事業収入	12,737,725
受取利息配当金収入	879,709
その他の収入	77,203,518
事業活動収入計(1)	1,890,415,407
人件費支出	1,518,738,911
事業費支出	166,507,550
事務費支出	151,415,172
利用者負担軽減額	333,905
助成金支出	158,519
その他の支出	730,660
事業活動支出計(2)	1,837,884,717
事業活動収支資金差額	52,530,690
(3)=(1)-(2)	
施設整備等補助金収入	7,947,510
施設整備等収入計(4)	7,947,510
固定資産取得支出	55,944,574
施設整備等支出計(5)	55,944,574
施設整備等資金収支差額	△ 47,997,064
(6)=(4)-(5)	
積立資産取崩収入	136,771,104
事業区分間繰入金収入	0
拠点区分間繰入金収入	0
サービス区分間繰入金収入	0
その他の活動による収入	92,472,074
その他の活動収入計(7)	229,243,178
積立資産支出	179,440,824
事業区分間繰入金支出	0
拠点区分間繰入金支出	0
サービス区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	103,992,490
その他の活動支出計(8)	283,433,314
その他の活動支出計	△ 54,190,136
(9)=(7)-(8)	
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計	△ 49,656,510
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	
前期末支払資金残高(12)	617,415,504
当期末支払資金残高	567,758,994
(11)+(12)	

事業活動計算書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）（単位：円）

科 目	当年度決算
会費収益	7,866,111
寄附金収益	1,987,192
経常経費補助金収益	106,612,772
助成金収益	1,023,000
受託金収益	212,741,129
事業収益	6,022,260
負担金収益	44,733,846
介護保険事業収益	1,338,968,899
障害福祉サービス等事業収益	76,363,352
高齢者住宅事業収益	3,275,894
その他の事業収益	12,737,725
その他の収益	77,096,118
サービス活動収益計(1)	1,889,428,298
人件費	1,524,586,238
事業費	166,507,550
事務費	151,415,172
利用者負担軽減額	333,905
助成金費用	158,519
減価償却費	85,247,801
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 56,921,540
その他の費用	730,660
サービス活動費用計(2)	1,872,058,305
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	17,369,993
受取利息配当金収益	879,709
その他のサービス活動外収益	107,400
サービス活動外収益計(4)	987,109
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用(5)	0
サービス活動外増減差額	987,109
(6)=(4)-(5)	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	18,357,102
施設整備等補助金収益	7,947,510
固定資産受贈額	5,024,266
その他の特別収益	1,888,741,191
特別収益計(8)	1,901,712,967
固定資産売却損・処分損	3,429,024
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 3,428,992
国庫補助金等特別積立金積立額	8,441,190
その他の特別損失	1,895,796,227
特別費用計(9)	1,904,237,449
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2,524,482
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	15,832,620
前期繰越活動増減差額(12)	864,311,111
当期末繰越活動増減差額	880,143,731
(13)=(11)+(12)	
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	128,297,754
その他の積立金積立額(16)	172,119,824
次期繰越活動増減差額	836,321,661
(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	

◆新体制のご紹介です！

任期満了に伴い、理事、監事および評議員の改選が行われました。新体制で地域福祉のさらなる向上に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

理事（任期 令和5年度定時評議員会終結の時まで）

氏名		選出区分
会長	和田 幸雄	学識経験者
副会長	浅井 一弘	地域の福祉関係者
副会長	本間 道子	地域の福祉関係者
常務理事	塚本 寿一	地域の福祉関係者
理事	東后 昭一	地域の福祉関係者
理事	近藤 信子	地域の福祉関係者
理事	小田 純一	地域の福祉関係者
理事	中野千枝子	地域の福祉関係者
理事	菊池 基	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
理事	本間 浩	ボランティア活動を行う団体の代表者
理事	川口 武彦	社会福祉事業を営営する団体の役職員
理事	本間 一生	民生委員児童委員
理事	本間 英子	学識経験者

監事

（任期 令和5年度定時評議員会終結の時まで）

氏名		選出区分
本間 進治	川上 達也	社会福祉事業に識見を有する者
		財務管理について識見を有する者

評議員（任期 令和7年度定時評議員会終結の時まで）

氏名		選出区分
塚本 明人	古林 文子	ボランティア活動を行う団体の代表者（両手の会）
本間 満	天池ミチエ	ボランティア活動を行う団体の代表者（音訳ボランティアとわの会）
中川 美津子	神田 孝子	ボランティア活動を行う団体の代表者（JA佐渡 女性部）
佐藤 敏美	氏 公德	地域福祉推進に必要な地域の主要な諸団体（水津福祉の会）
佐々木 伸彦	後藤 正夫	当事者等の組織（佐渡市老人クラブ連合会）
佐藤 美恵子	今井 洋子	当事者等の組織（佐渡市手をつなぐ育成会）
池 一義	羽生 満枝	民生委員児童委員（佐渡市民生委員児童委員協議会）
井野 端 司	清水 英次	社会福祉事業を営営する団体の役職員（特別養護老人ホーム大浦の里）
濱田 雅晴	堅野富士雄	社会福祉事業を営営する団体の役職員（社会福祉法人佐渡福祉会）
山本 初子	渡邊 鉄男	保健・医療・教育等の関係機関、団体（佐渡市公民館）





あたたかいご寄付をありがとうございます

令和3年4月16日～6月15日(順不同)

さわかい いない 様	箱ティッシュ5箱×12パック
坂 一宏 様(加茂歌代)	30,000円
故 山岡 吾朗 様	紙パンツ2袋、尿取りパッド1袋、他
岩首福祉会 様	タオル97枚、半タオル5枚、箱ティッシュ17箱
故 中川 ミチエ 様	紙パンツ3袋、尿取りパッド3袋
匿名	紙オムツ4袋
匿名	1,000円
匿名	紙オムツ1袋、尿取りパッド1袋
匿名	紙オムツ、他
匿名(梅津)	1,000,000円
匿名	50,000円
匿名	タオル25枚



赤い羽根共同募金配分金事業 福祉つながりセット配付事業 はじまります



地域と社協がつながるきっかけづくりのひとつとして、新しい事業に取り組みます。

◆対象者：80歳以上の一人暮らしの方

◆内 容：年2回、対象者全員のご自宅を訪問し、「福祉つながりセット」をお届けします。

<セットの内容(例)>

夏季：飲料水・塩あめなど
(熱中症予防の注意喚起)

冬季：マスク、カイロなど

(感染症予防、フレイル予防の注意喚起)

お伺いするのは地域の民生委員や社協の職員です。暮らしの様子などについて、ぜひお聞かせください。

※給食サービスは令和2年度をもって終了しました。



お知らせ

社協ケアプランセンターなごみの移転について

業務の効率を上げ、サービスの質の向上を図るため、社協ケアプランセンターなごみの事務所を移転しました。

<移転日> 令和3年7月1日(木)

<移転先>

住所 佐渡市河原田本町394番地
(佐渡市役所佐和田行政サービスセンター内)

電話番号 58-7135

FAX番号 57-8151

移転に伴うケアマネジャーの変更等はございませんのでご安心ください。また、金井地域センターと金井デイサービスセンターしゃくなげの里については、これまでどおりです。





イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

上下のイラストには、ちがうところが**5か所**あります。
イラストをよく見くらべて、ちがいのあるエリアを
アルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

やってみよう!

みつけて応募!

◎今月は正解者の中から抽選で5名様に、佐和田地区「まつはらの家」様の「リボンゴム&ハンドタオル」をプレゼントいたします。社協だよりへのご意見・ご要望などを添えて、どんどんご応募ください!

【応募方法】

ハガキに問題の答えの他、必要事項をご記入のうえ、左記宛先までお寄せください。

また、ホームページのお問合せフォームからもご応募いただけます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

締切：8月6日（金）必着

※ご記入いただいた個人情報適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載させていただきます。ご了承くださいますようお願いいたします。

宛先

〒952-0206
佐渡市畑野甲533番地
佐渡市社会福祉協議会
社協だより担当者 行

記載内容

- ・問題の答え・氏名（ふりがな）
- ・住所・電話番号・年齢
- ・社協だよりへのご意見、ご要望など

【前回の答え】

164号の答えは

「運動会」でした。

ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。





輝く島の うし年さん

★丑年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

★自薦他薦を問わず、元気な丑年の方を募集しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありまので、ご了承ください。よろしくお願いします。



いしかわ

忠さん

真野地区

昭和12年生まれ

10年前から短歌を詠み、新潟日報へ投稿しています。海と山の見えるこの地で季節や人を思い、気持ちに添う歌ができた時は嬉しいものです。食事は栄養バランスを考えて好き嫌いなく食べるようにし、犬の散歩が日課です。老い先を思いながらも、起きたことを柔軟に受け入れられるようにして過ごすことも、健康で過ごせる秘訣ではないでしょうか。

いわさき

良枝さん

相川地区

昭和24年生まれ

早寝早起きをし、家の前に広がる畑で野菜作りに励んでいます。今年は白い茄子を収穫してみたいと思っています。また、1日1回は机に向かうことにしています。もう20数年、日記と家計簿を欠かさずつけています。介護予防教室にも出かけ、半分しかできなくても先生に励まされながら、自分の体のためと思い楽しく参加しています。

子ども向け企画

このマークなあに？

普段見かける色々なマークには、どんな意味があるんだろ？マークを見かけたら、どうすればいいのかな？



今回は身体障がい者マークを紹介するよ。



青地の円の中に白い四つ葉のクローバーが描かれているこのマークは、見た目から「四つ葉マーク」や「クローバーマーク」と呼ばれていて、自動車の前後に貼ることで肢体不自由の方が運転していることを示します。

自動車の運転に関するマークだから、皆さんには関係ないでしょうか？いいえ、そんなことはありません。例えば、このマークがついた車は、駐車場などで乗り降りのためにドアを大きく開いたり、車椅子などを置くスペースが必要になったりします。ですから、車の近くに自転車や荷物を置かないように気をつけることが大切です。また、乗り降りする人が皆さんのサポートを必要とするかもしれません。そのような場合には、ぜひ自分から声をかけて、お手伝いしましょうね。

※肢体不自由とは、四肢（両手両足）の麻痺や欠損などにより、通常の動作や姿勢を保つことに不自由があることを指します。



まとめ

★車を運転する大人の人たちにも教えてあげてね。



地域のちっとい話



コロナ禍の中、ある集落の婦人部が「地域の様子を知らせたい」と作り始めた「がやがや講だより」。亡くなられた方の思い出や、ケガをした子どもに上級生が手当てをした話などが手書きで載っています。地域ならではの心温まるお便りです。